

## スペイン語ペア部門 課題文

### Palabras para ser libres — 自由になるための言葉

今年の課題は、スペイン映画『La lengua de las mariposas』（邦題：蝶の舌）に着想を得たレシテーション大会用オリジナル課題です。A/B で交互に暗唱し、このシーンを表現してください。

#### ★舞台設定

放課後の教室（あるいは図書室）。

先生 A（モデルはドン・グレゴリオ）と生徒 B（モデルはモンチョ）が、「読書とことばの力」について静かに語りあっています。

先生 A は「ことば = 自由の道具」という価値観を、やさしい語彙で反復しながら生徒 B に伝えます。

「todavía（まだ）」「gracias（ありがとう）」など、日常でよく使うことばの奥にある深い意味を考えさせられるシーンです。

#### ★スペイン語の課題

A（先生）× B（生徒）

A: ¿Sabes por qué / cuidamos las palabras? //

B: Para sacar buenas notas... / ¿no? //

A: También. / Sobre todo, / para ser libres. //

B: ¿Libres como los pájaros? //

A: Libres como quien elige / y entiende. //

B: A veces me da miedo / equivocarme. //

A: El error enseña / si lo miras de frente. //

B: ¿Y si se ríen de mí? //

A: Ríe con ellos... / y sigue. //

B: Profe, / ¿qué palabra le gusta más? //

A: “Gracias”. / Abre puertas / sin llave. //

B: La mía es “todavía”. //

A: Buena palabra: / deja espacio al futuro. //

B: Todavía me cuesta / leer en voz alta. //

A: Respira, / marca comas, / y comparte el sentido. //

B: ¿Puedo elegir un libro? //

A: Elige uno / que te haga preguntas. //

B: Entonces... / el de las mariposas. //

A: Llévalo. / Trátalo como a un amigo. //

B: Prometo devolverlo... / y entender un poco más. //

[UNÍSONO] Las palabras nos cuidan / si las cuidamos. //



【画像：場面のイメージ】

記号： / = 短い息継ぎ、 // = 文末の長めの息継ぎ、 ... = ためらいや余韻

[UNÍSONO] = ユニゾン（2 人一緒に）

## ★日本語の意味

A(先生)：どうして言葉を大切にするのか、わかる？

B(生徒)：いい成績のため…ですね？

A：それもね。でもいちばんは、自由になるためだ。

B：鳥みたいに自由？

A：自分で選び、理解できる自由だよ。

B：ときどき、まちがえるのが怖いです。

A：正面から向き合えば、失敗は先生になる。

B：みんなに笑われたら？

A：いっしょに笑って…それでも前へ進みなさい。

B：先生、いちばん好きな言葉は何ですか？

A：「gracias（ありがとう）」だ。鍵がなくても扉を開いてくれる。

B：ぼくは「todavía（まだ）」。

A：いい言葉だ。未来に余白を残してくれる。

B：ぼくはまだ音読が苦手で……。

A：息をして、コンマで区切って、意味を分かち合おう。

B：本、選んでもいいですか？

A：君に問いを投げかけてくる本を選びなさい。

B：じゃあ…「ちょうちょ」の本にします。

A：持っていきなさい。友だちのように大切にね。

B：ちゃんと返します…そして、もう少しわかるようになります。

【A+B 一緒に】言葉を大切にすれば、言葉も私たちを守ってくれる。

## ★映画『La lengua de las mariposas』（邦題：蝶の舌）とは

○1999 年公開、ホセ・ルイス・クエルダ監督の名作。1936 年のガリシアを舞台に、内気な少年モンチョと博識で温かい教師ドン・グレゴリオの交流を描いています。主演はフェルナンド・フェルナン・ゴメス、マヌエル・ロサノ。物語はスペイン内戦の勃発とともに少年の“成長”と“喪失”が交差します。

○原作：作家マヌエル・リバスの短編集『¿Qué me quieres, amor?』所収の複数短編（ガリシア語「A lingua das bolboretas」等）に基づきます。

○受賞：第 14 回ゴヤ賞 脚色賞（アダプテッド・スクリーンプレイ）受賞。

## ★課題の練習方法

○モデル音声をよく聞いて、まずは滑らかに音読できるように練習しましょう

○記号（／＝短い息継ぎ、／／＝文末の長めの息継ぎ、…＝ためらいや余韻）も参考にしてください。

○A（先生）と B（生徒）の関係性を考えながら演じてみましょう。

作成：編集 増井実子